※令和５年度以降入学生用

学校番号	1207

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	実践英語	3	第２学年	・Amity English Communication I （C I 704） ・Amity English Communication I　ワークブック（開隆堂出版） ・改訂版 Word Meister1700（第一学習社） ・改訂版 Word Meister1700Training note（第一学習社）

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践英語の授業は、「聞くこと」、「話すこと（やり取り、発表）」、「読むこと」、「書くこと」という４技能５領域の力をつける授業です。聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。
・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習しましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・事物に関する照会や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をある程度とらえることができる ・事実と意見などを区別して聞くことがある程度できる ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら聞こうとすることができる	・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をある程度とらえることができる ・事実と意見などを区別して読むことができる ・説明や物語などを、聞き手にある程度伝わるように音読することができる ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などを意識しながら読むことができる	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見を交換したりすることができる ・事実と意見などを区別して話すことができる ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話そうとすることができる	・簡単な語句や文を用いて、自分のことを紹介できる。 ・日常生活で必要な基本的な情報を他者に伝えることができる。 ・身近なトピックや出来事について、事実、自分の考えや気持ちなどを、教員などの補助があれば簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔な文章を書こうとすることができる ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書こうとすることができる ・事実と意見などを区別して書こうとすることができる

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの基礎を理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ・授業内でのワークシート等に対して日常的に取り組めている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和５年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	Lesson4 “Endangered Species” Lesson 5 “The History of Chocolate” FOCUS+ 1	聞くこと	a: CD の内容を聞き、教材などの補助があれば単語を聞き取れる。 b: 画像等の視覚的情報があれば話される内容が推察できる。 c: 必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内プリント
		読むこと	a: 現在進行形を教材などの補助があれば見つけることができる。 b: 文章を読み概要をとらえることができる。 c: 文章を読み概要をとらえようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと	a: 現在進行形の例文を音読することができる。 b: 例文を活用し自分で文章が作れる。 c: 文法を理解し文章を読もうとする。	授業内プリント
		書くこと	a: 教材などの補助があれば例文を作ることができる。 b: 例文を活用し自分で文章が作れる。 c: 文法を理解し書こうとする。	定期考査 （ライティング）
	5 月考査			
	Lesson 6 “Our School” Lesson 7 “Serendipity” FOCUS+ 2	聞くこと	a: CD の内容を聞き、教材などの補助があれば単語を聞き取れる。 b: 画像等の視覚的情報があれば話される内容が推察できる。 c: 必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内プリント
		読むこと	a: 動名詞や比較を教材などの補助があれば見つけることができる。 b: 文章を読み概要をとらえることができる。 c: 文章を読み概要をとらえようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 動名詞や比較の例文を音読することができる。 b: 例文を活用し自分で文章が作れる。 c: 文法を理解し文章を読もうとする。	授業内プリント
		書くこと	a: 教材などの補助があれば例文を作ることができる。 b: 例文を活用し自分で文章が作れる。 c: 文法を理解し書こうとする。	定期考査 （ライティング）
	7 月考査			
	Lesson 8 “Sapeurs”	聞くこと	a: CD の内容を聞き、教材などの補助があれば単語を聞き取れる。 b: 画像等の視覚的情報があれば話される内容が推察できる。 c: 必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内プリント
		読むこと	a: 完了形、受動態を教材などの補助があれば見つけることができる。 b: 文章を読み概要をとらえることができる。 c: 文章を読み概要をとらえようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 完了形、受動態の例文を音読することができる。 b: 例文を活用し自分で文章が作れる。 c: 文法を理解し文章を読もうとする。	授業内プリント
		書くこと	a: 教材などの補助があれば例文を作ることができる。 b: 例文を活用し自分で文章が作れる。 c: 文法を理解し書こうとする。	定期考査 （ライティング）
	10 月考査			
後期	Lesson 9 “Special Makeup Effects”	聞くこと	a: CD の内容を聞き、教材などの補助があれば単語を聞き取れる。 b: 画像等の視覚的情報があれば話される内容が推察できる。 c: 必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内プリント
		読むこと	a: 分詞・関係代名詞を教材などの補助があれば見つけることができる。 b: 文章を読み概要をとらえることができる。 c: 文章を読み概要をとらえようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 分詞・関係代名詞の例文を音読することができる。 b: 例文を活用し自分で文章が作れる。 c: 文法を理解し文章を読もうとする。	授業内プリント
		書くこと	a: 教材などの補助があれば例文を作ることができる。 b: 例文を活用し自分で文章が作れる。 c: 文法を理解し書こうとする。	定期考査 （ライティング）

※令和５年度以降入学生用

	12 月考査			
	Lesson 10 “Clean Water” FOCUS+ 3 COMMUNICATE+ 2	聞くこと	a: CD の内容を聞き、教材などの補助があれば単語を聞き取れる。 b: 画像等の視覚的情報があれば話される内容が推察できる。 c: 必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内プリント
		読むこと	a: 分詞・関係代名詞を教材などの補助があれば見つけることができる。 b: 文章を読み概要をとらえることができる。 c: 文章を読み概要をとらえようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 分詞・関係代名詞の例文を音読することができる。 b: 例文を活用し自分で文章が作れる。 c: 文法を理解し文章を読もうとする。	授業内プリント
		書くこと	a: 教材などの補助があれば例文を作ることができる。 b: 例文を活用し自分で文章が作れる。 c: 文法を理解し書こうとする。	定期考査 （ライティング）
	2 月考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度